

北九州市の ものづくりの街の 新潮流

DX





AIを使って誰もが簡単安全に作業する環境を整える

COMPANY PROFILE

会社名 有限会社ゼムケンサービス
 (北九州市小倉北区片野3の7の4)
 代表者 籠田淳子
 資本金 2000万円
 売上高 2億円(21年7月期)
 URL <https://www.zmken.co.jp/>



主張ではなく、建設的な意見を

「女性を捨てるのではなく、生かすことを学んでほしい」。2019年に開校した、けんちくけんせつ女学校(北九州市小倉北区)校長を務める、ゼムケンサービス(同)の籠田淳子社長は生徒らの前で訴える。インターネットと研修所を併用する同校は、建築士や現場監督などリーダーの育成を目指す。「主張するのではなく、建設的な意見で女性力を現場力に変える」という籠田社長の思いは、今大きな注目を集めている。

同社の従業員10人のうち9人が女性、3人が一級建築士の資格を持つ。営業活動は行わないが丁寧な仕事を受け、小規模店舗などで実績を積み上げた。だが道のりは平坦ではなかった。

籠田社長が実家の工務店を引き継いだ時、女性



けんちくけんせつ女学校ではリーダーの育成を目指している

というだけで理不尽な経験を幾度も味わった。だが見渡すと建設や住宅メーカーに女性は多い。さまざまな資格を持つにもかかわらず、結婚や出産で離職していく現実を見ながら「女性中心でもっといいものを作ろう」と決意する。

愛ある取り組みが現場の柱に

子育てや介護に追われる従業員を手助けするため全社にシェアリングの考えを浸透させ、業務を平準化した。また2人現場体制や物件ごとのチーム制導入で、個人の負担軽減に努めた。

取り組みが評価され経済産業省の13年度ダイバーシティ経営企業100選に選ばれた。デジタル変革(DX)の取り組みは、基幹業務にかかる時間を統合業務パッケージ(ERP)導入でほぼ半減させた。

現在は北九州市若松区の学術研究都市にある早稲田大学大学院情報生産システム研究科と連携し、人工知能(AI)と拡張現実(AR)を融合した「AI+AR(愛ある)マネジメントツール」の開発を進める。膨大な建築情報をデータ化し、通信を利用して現場と事務所をつなぎ経験の浅い若者でも作業に対応できるシステムだ。「知識の壁をAIを使ってサポートし、誰もが簡単安全に作業する環境を整える」。籠田社長の愛ある取り組みが、建築現場を支える柱となる。